

光栄の森

2025年1月 毎月1日発行 第209号
発行者 光栄プロテック 松村

1月に向けて

代表取締役 三田雅憲

2025年の当社における大きな出来事として、創業55周年記念祝賀会がありました。50周年がコロナ禍の影響もあり中止となりましたので、その分盛大に開催させていただきました。大阪と千葉の社員諸君と共に、光栄の森さんも参加いただきました。場外・場内案内に社員諸君もご協力いただき、お客様からは本当にうれしい謝辞の言葉をたくさん頂きました。特にオープニングの独楽さんの演奏は、本当に10年ぶりでうれしく感じました。当社総務部が中心となり、都ホテル様や演者様と打ち合わせを重ね、また当社の紹介ムービーは当社の今を本当に上手に映し出してくれたと思います。細部の丁寧なつくりが全体としても素晴らしい、記念祝賀にふさわしい物となりました。気が早いですが2028年にオープン予定の岐阜安八工場のオープニングセレモニーや、次の2030年の60周年に向けて素晴らしい布石を打っていただいたと思います。2年後4年後にかけてまた、よろしくお願ひします。

また、社内工場では班長、班長代理が中心となり若手に塗装や硫化・その他の仕事を任せてマルチ化を進めてきてもらっていると思います。若い方が様々な仕事を早い時期に経験することで気付きをよくして、また彼らがより若手を指導し仕事の生産性を向上させていく好循環ができつつあると感じます。平石先生のアクションプランにおいても従来の「やりなおしぜロ」という少し消極的なテーマから「工場・営業にDX化」という前向きなテーマを10月より進めており、これがいい形で結実すればとも思います。

また、お客様とのお付き合いでも大きな進展がありました。日立製作所様と直接取引契約を結ぶことができました。この日立さんの取引は日立グループ企業すべてと契約できるすごい契約であり、このような契約ができた当社の堅実さを改めてうれしく思いました。物件的にも、虎ノ門麻布台・大阪グランフロントうめきた2期・京都KIH計画(帝国ホテル京都)・東京・大阪・名古屋・福岡各地域のハイブランドの特殊仕上・米国ロサンゼルスにあるカルバーシティーのアップル社のオフィスビルそして、栃木の栃木銀行本店工事など大型案件が完了または継続しております。

社内としても勤怠管理の顔認証によるDX化や生成AIの導入に向けた勉強会、キントーンを始めとする工場・営業のDX化などデジタルで進める部分と、しっかりと手作りで進める部分を区分し、他社と圧倒的な差別化ができるように会社運営を進めていきたく考えています。また、2025年には長く勤めた社員、中堅、そして3年目の社員の退職がありやむを得ない理由がそれぞれありましたが、新しい世界で頑張っていただきたいと思います。また、2026年には新卒のフレッシュな方々が4人入社されることも決定しております。千葉工場も求人募集を引き続き進めておりますので、新しい仲間になる方を是非皆さんで歓迎してあげてほしく思います。